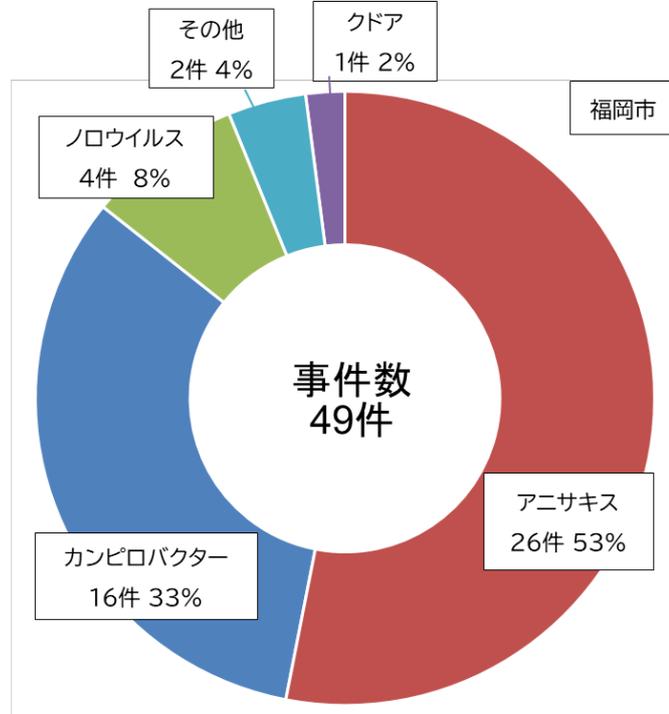


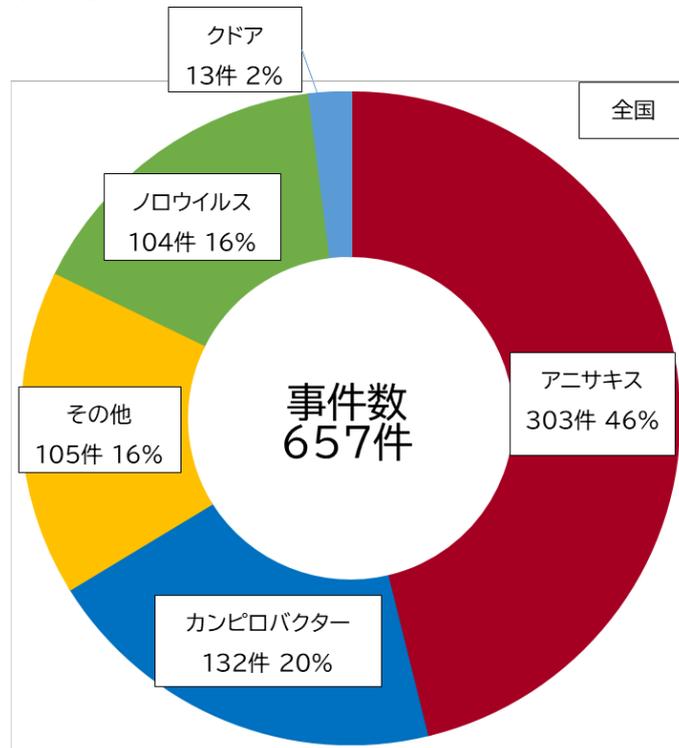
令和5年食中毒発生状況

令和5年のデータは、令和5年1月1日から10月31日までに発生した食中毒事例を基としている。(令和5年11月29日時点)

1 福岡市内の発生状況（令和5年）

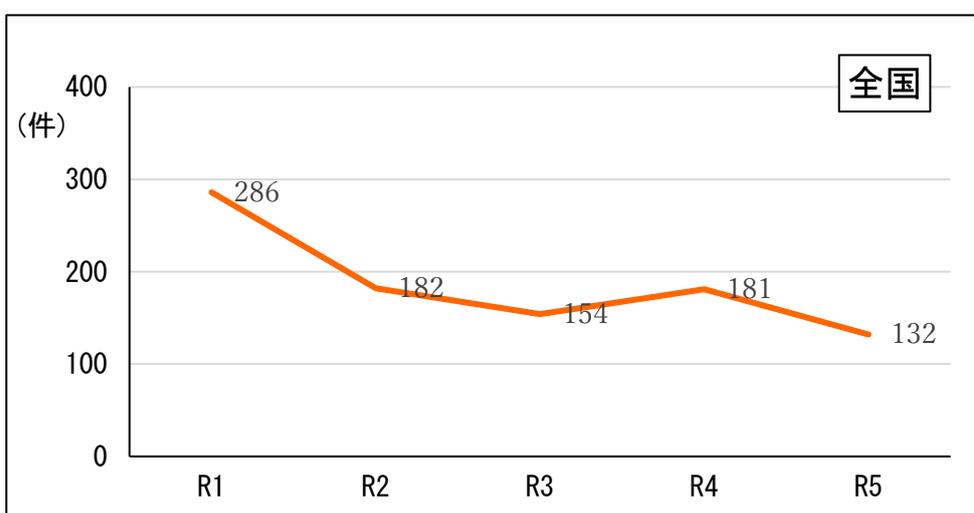
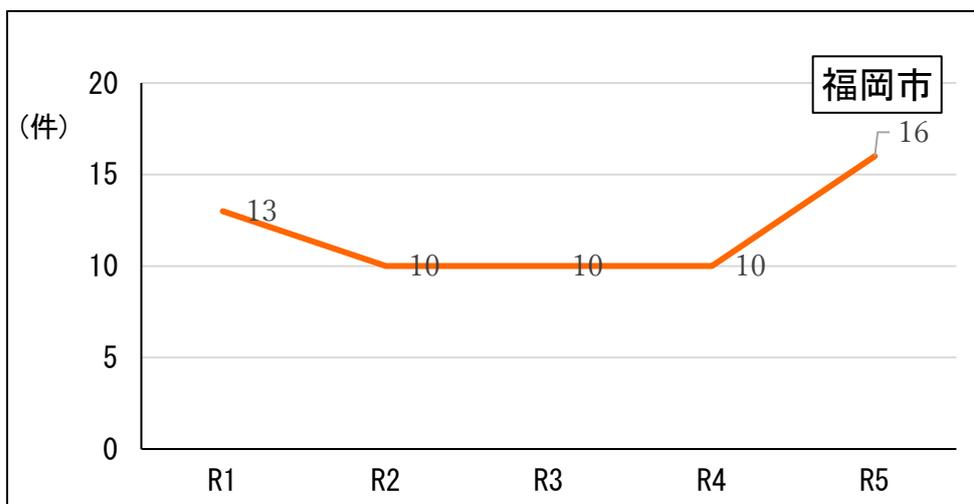


2 全国の発生状況（令和5年）

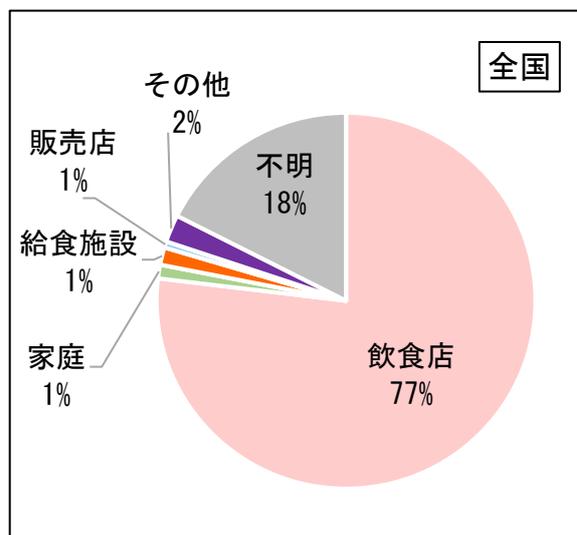
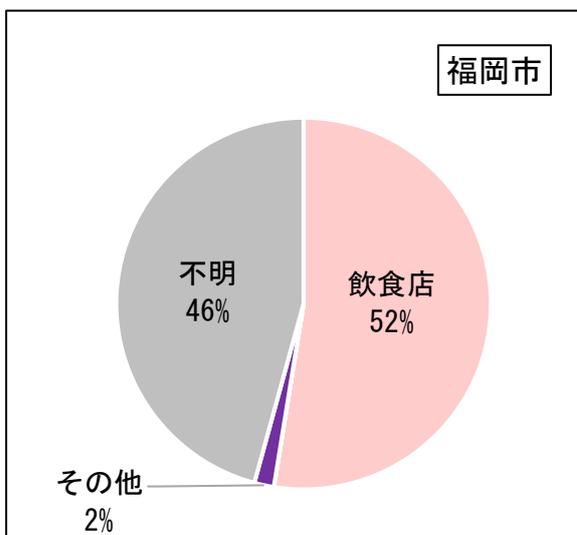


3 カンピロバクター食中毒発生状況

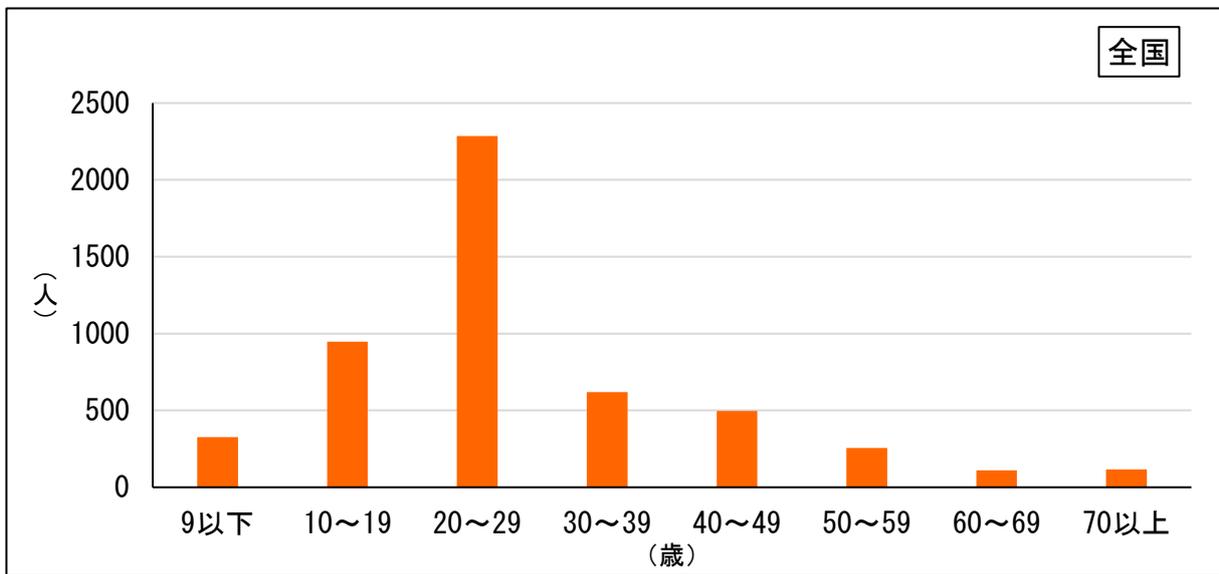
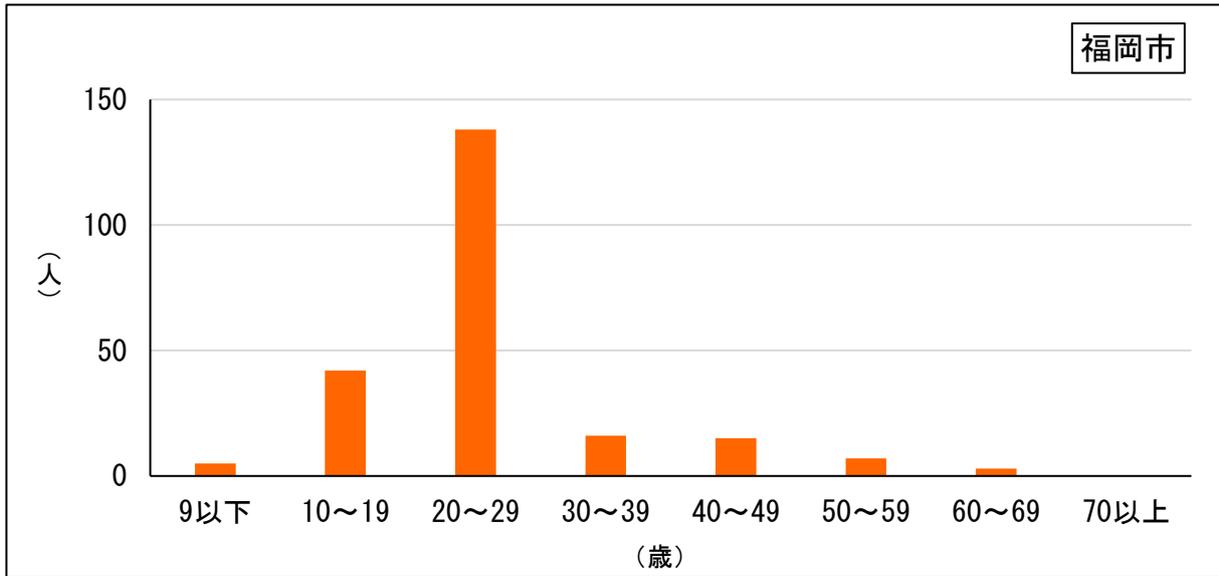
① 発生件数の推移



② 原因施設の内訳 (R1～R5.10の累計)

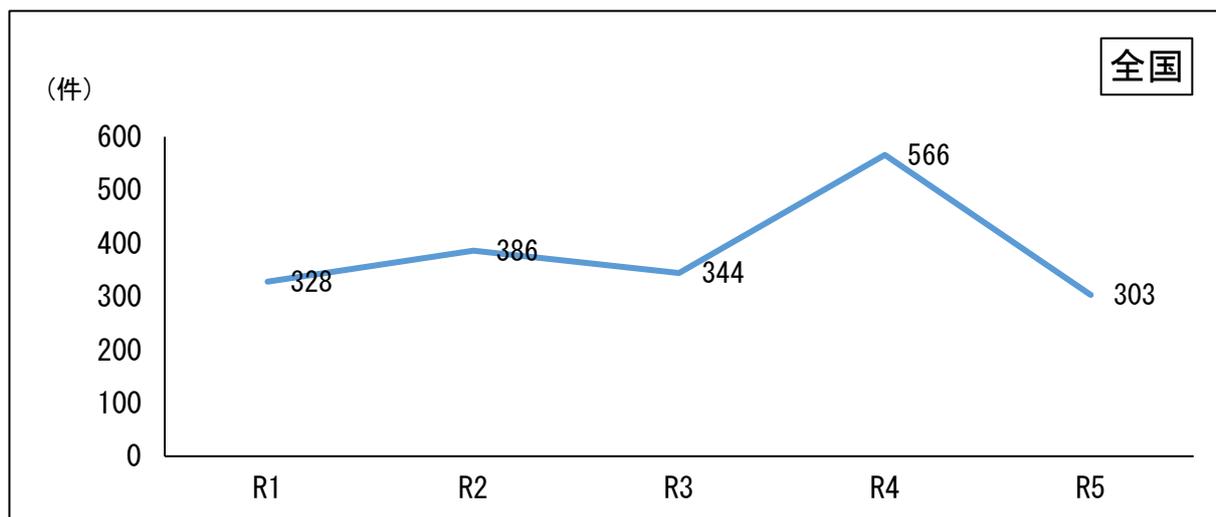
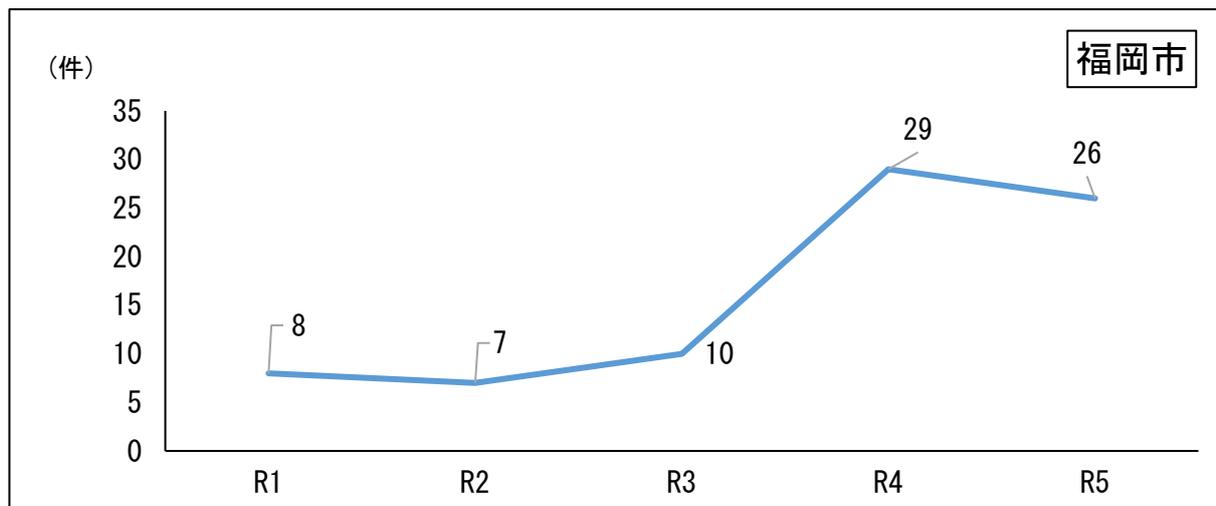


③年齢層別の患者数（R1～R5.10の累計）

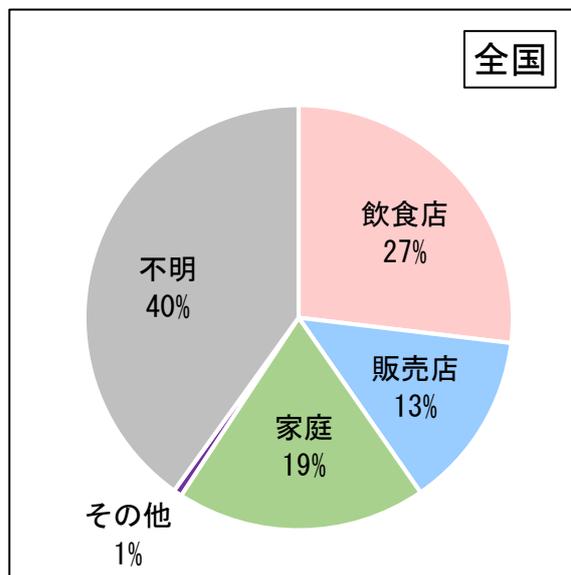
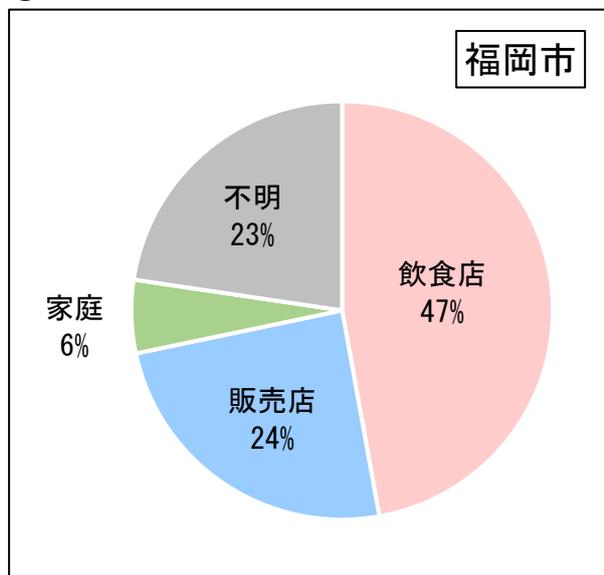


4 アニサキス食中毒発生状況

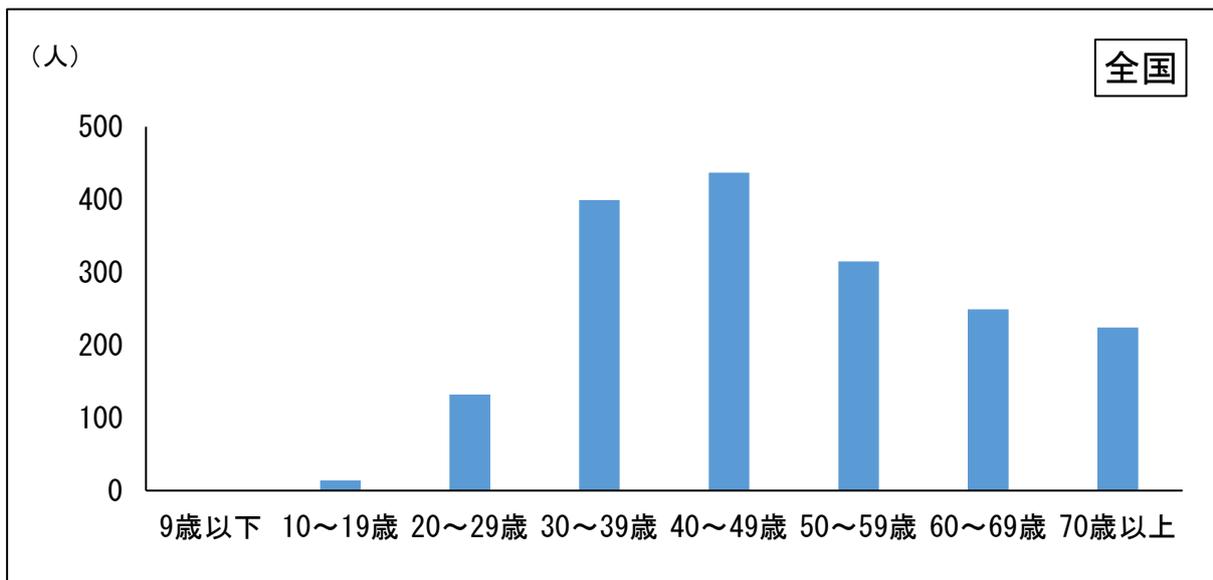
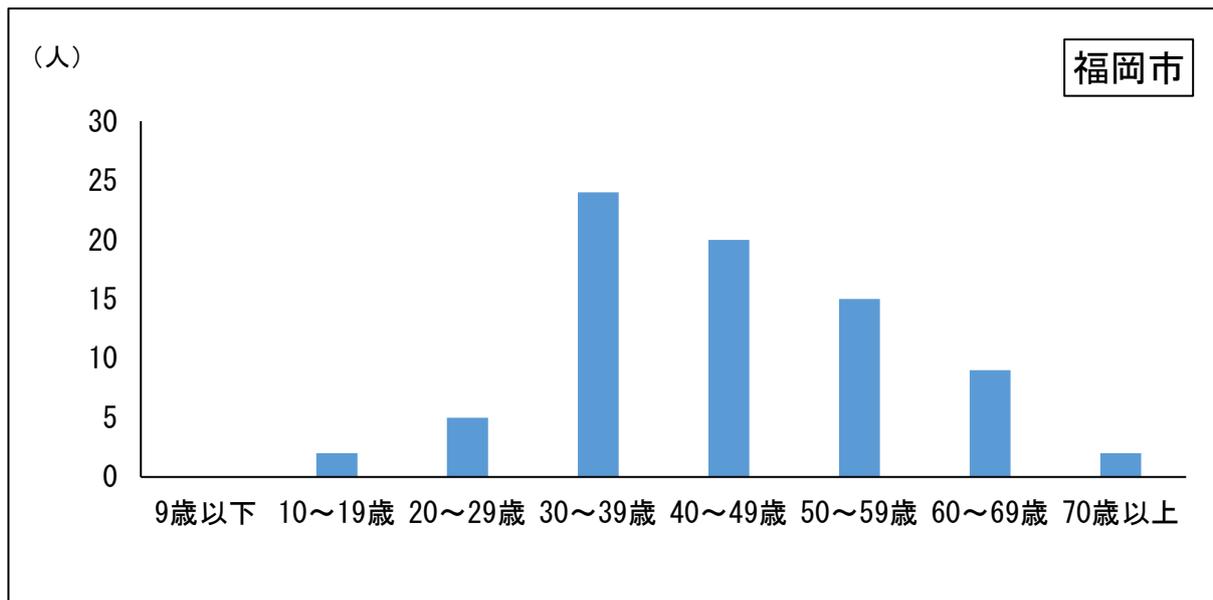
①発生件数の推移



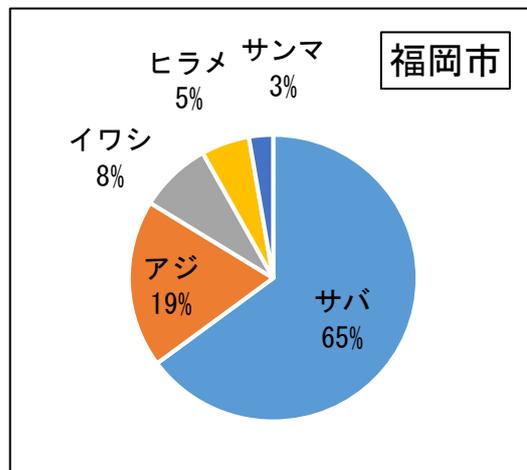
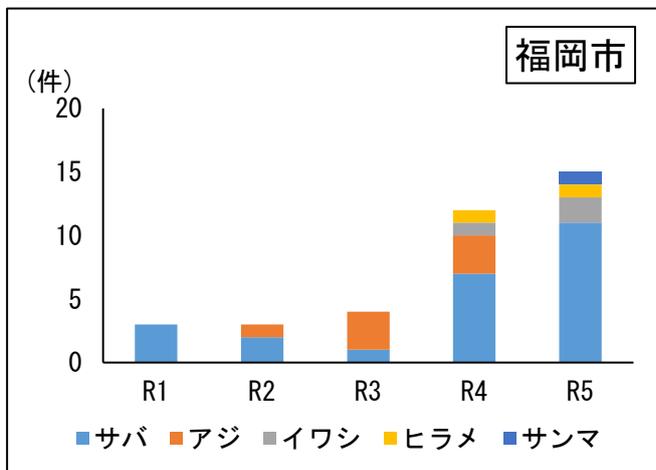
②原因施設の内訳 (R1～R5.10の累計)



③年齢層別の患者数（R1～R5.10の累計）



④原因魚種別の発生状況※



※原因魚種が判明した事例の集計。円グラフはR1～R5.10の累計。

5 弁当製造施設及び社会福祉施設における食中毒発生事例

(1) 弁当製造施設

①本市の事例（幼稚園、保育園等への配食弁当の製造施設における食中毒）

【概要】

発生日：令和5年2月

患者数：477名（喫食者数：3,097名）

症状：嘔吐、下痢等

病因物質：ノロウイルス

原因食品：不明

汚染経路：不明（調理従事者からノロウイルスが検出されたため、調理中に食品を汚染し、食中毒が起きた可能性が考えられた。）

②他自治体の事例（青森県八戸市の駅弁の製造施設における食中毒）

【概要】

発生日：令和5年9月

患者数：554名（29都道府県）

症状：嘔吐、下痢、吐気、腹痛等

病因物質：黄色ブドウ球菌及びセレウス菌

原因食品：9月16日及び17日に販売された弁当

(2) 社会福祉施設

①本市の事例（有料老人ホームにて給食を提供する事業者による病原大腸菌食中毒）

【概要】

発生日：令和5年6月

患者数：19名（喫食者数41名）うち1名死亡（死因：急性胃腸炎）

症状：下痢、発熱等

病因物質：毒素原性大腸菌及び腸管凝集性大腸菌

原因食品：提供給食（鶏肉のトマト煮）

汚染経路：不明（調理従事者及び提供給食〔鶏肉のトマト煮〕から病原大腸菌が検出されたが、調理従事者が給食を食べており、汚染経路の特定できず。）

②他自治体の事例（静岡県社会福祉施設にて給食を提供する事業者による食中毒）

【概要】

発生日：令和5年11月

患者数：33名うち2名死亡（死因：特定には至っていない）

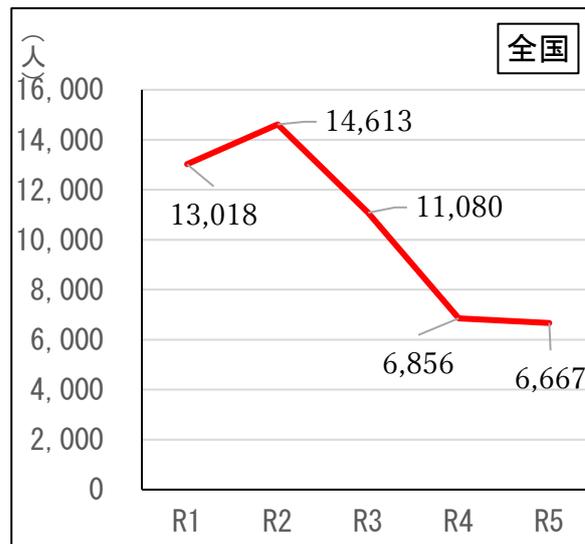
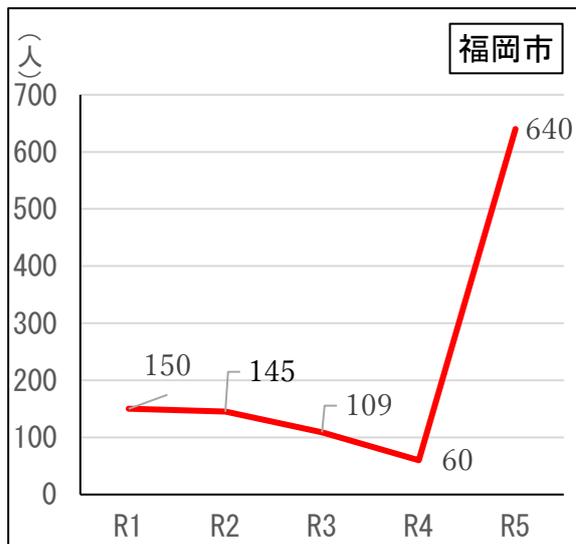
症状：腹痛、下痢、血便等

病因物質：腸管出血性大腸菌

原因食品：令和5年11月3日昼食に提供された給食（推定）

参考 食中毒患者数・発生件数推移

① 患者数の推移



② 発生件数の推移

